



学校だより

上小岩



令和8年10月 2日

NO.6

江戸川区立上小岩小学校
校長 宮本 知司

実りの秋は“伸びる秋”

校長 宮本 知司

「金木犀のいい香り!」、9月半ば過ぎの5年生の社会科見学で横浜の小さな公園を通った時に、列の後ろの方からこんな声が聞こえました。(一生懸命にマテバシイの細長いドングリを拾う子もいましたね!)どんなに夏が暑くても、9月が長雨でもしっかりと植物は季節を刻み、金木犀は香り、彼岸花は真っ赤な花を開きました。何をするにも気持ちのいい“実りの秋・伸びる秋”がやってきました。



モルモットをひざに抱く1年生です

10月は、かみっ子が校外で存分に活躍する場が続きます。広々とした水元公園で秋探しをする低学年の生活科見学、陸上競技場での6年生の体育大会、そして4年生はスポーツセンターでのスケート教室。月末には5年生が“セカンドスクール”として福島県の猪苗代湖畔、会津若松城下へと出かけます。ウィンタースクールで宿泊予定の宿の閉鎖が突然に伝えられたことから、「まったく新しい3日間」を作っていくことをこの4月、急ぎょ考えました。新しくスタートの行事ですが、5年生の子供たちとともに楽しい気持ちでいっぱいにして出かけてまいります。〔下段に載せた変更の経緯も、どうぞご覧ください…〕



変更と言えば、先日江戸川区より「大雨・暴風対応についての通知」が出されました。前日の昼過ぎには区内全小中学校の動きを決め、無理のないような「オンライン学習」へと切り替える判断を行うというものです。状況によっては交通機関の乱れなどにより職員の出勤もままならない事態も想定されますが、無理のない形での実施ができるよう具体的な方法を探ってまいります。併せて、ご家庭の協力が必要なことも多いと思われませんが、そこもまた無理なくと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

- ◆ ウィンタースクール実施の難しさ [かつては5年生は夏の日光林間学校、6年生がウィンタースクールでした]
本校では昨年度、大雪による交通規制を受けて「直前の実施延期(1月から3月へ)」となりました。また、区内各校ではスキーや雪遊び時の大きな怪我やインフルエンザ等の感染症拡大なども毎年起こり、その都度保護者の方に高速道路や新幹線を使った遠路のお迎えを依頼してきました。私たち教員も「子供たちの初めての宿泊行事として感染症の流行する冬の時期ではかわいそう」「高速道路の閉鎖などに備え携帯トイレや非常食まで積みドキドキして行くのはどうなのか」などの思いも抱いての実施でした。

最近の大きな気候変動も受け、学校が子供たちの集団を雪山に連れていくことのリスクを考慮して、区教委では別の形の宿泊行事への移行を各校に促し始めました。※現在区内の5校がセカンドスクールです

- ◆ 今年の急な事情

それでも、スキーをはじめとした貴重な雪国体験を子供たちにはさせたく、ウィンターを変更する判断は難しいところでした。そんな中でこの春は「急な宿舎閉鎖」という事態となり、学校では代替となる場所や日程の再調整を行いました。いい時期(1月～3月初旬)の日程を確保することができませんでした。

- ◆ “新しい形”での春から秋の宿泊行事を

数々の連絡をとり合う過程で、福島県のホテルから「紅葉が真っ盛りの10月下旬の宿泊はどうか」という提案がありました。送付された資料を検討すると「高原のハイキング、果物収穫、キャンプファイヤー、会津城下町の散策、星空体験…」と、冬とは異なる秋の大自然の中で子供たちが多くの体験をすることができる絶好の場になると考えました。担任2人も来月は現地に赴き、安全で有意義な3日間となるような計画を綿密に立てて実施をいたします。

《「5年生保護者向けの通知(4/27)」より抜粋》

6年生の「日光移動教室」も実に見事な姿でした。バス車内でも宿舎でも見学地でも、友達同士の和気あいあいとした空気と、折々にけじめのある姿。高学年の子供たちが上からいい空気を作っていくてくれることが、学校全体の落ち着きにもつながっています。嬉しいことです。